

2024年4月12日

報道機関 各位

長崎大学 永安武学長の福島県訪問について

(ポイント)

2011年3月に発生した東日本大震災直後から、福島県において、健康リスク評価・管理、帰還に向けた線量測定、リスクコミュニケーション等の復興支援を続けてきた長崎大学の永安武学長が、学長就任後初めて福島県を表敬し、福島県知事を始め関係機関と今後の連携について意見交換を実施します。

概要

4月17日と18日に永安武・長崎大学学長が福島県を訪問し、関係機関等を訪問することになりましたので、ご案内いたします。

長崎大学は、2011年3月の東日本大震災、それに続く東京電力福島第一原子力発電所事故の発災直後から福島県における危機管理体制の構築、事故後の復興支援を現在に至るまで行っています。

今回の訪問では、福島県の内堀知事や福島県立医科大学の竹之下理事長への表敬訪問に加え、双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館の訪問、さらには長崎大学が復興推進拠点を設置している双葉郡川内村・富岡町・大熊町・双葉町を訪問する予定です（詳細は、添付参照ください）。

(参考)



住民説明会



小学校での指導

【本リリースに関するお問合せ】

長崎大学原爆後障害医療研究所 教授 高村 昇 (TEL: 090-4989-0923)

【別紙】

永安武 長崎大学学長 福島訪問予定

4月17日

10時10分～10時20分 内堀・福島県知事面談
11時30分～12時 竹之下・福島医大理事長面談
15時より16時 東日本大震災・原子力災害伝承館見学

4月18日（時間はおおよその目安です）

9時～ 双葉町
10時～ 富岡町
10時40分～ 大熊町
11時30分～ 川内村

長崎大学 福島未来創造支援研究センターについてはこちら

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/special/fukushima/>

